

推薦基準要綱及び様式

H推薦:年少射撃資格の認定に関する推薦

*ランニング・ターゲット射撃競技用空気銃

*満14歳以上18歳未満

I推薦:猟銃の技能講習の免除に関する推薦

*推薦を受けようとする銃種を用いて、直近3年間における競技会参加成績が規定の点数以上である者

*満20歳以上

(銃刀法第5条の2第1項第1号の推薦を受けた者である場合は18歳以上)

J推薦:低年者の射撃指導員の指定に関する推薦

*指導を行う銃種を2年以上継続して所持している者

*満21歳以上25歳未満

施行日:平成21年12月4日

【Hークレー協会】 年少射撃資格の認定に関する推薦

年少射撃資格の認定に関する推薦基準要綱

1. 趣旨

この要綱は、銃砲刀剣類所持等取締法（昭和33年法律第6号。以下「法」という。）第9条の13第1項の推薦に必要な基準等を定めるものである。

2. 推薦基準

次の各号のすべてに該当する者で、日本クレー射撃協会が適当であると認めた者について行なうものとする。

- (1) 満14歳以上18歳未満の者
- (2) 親権者または後見人の承諾を得た者で、空気銃（空気けん銃を除く。以下同じ。）を標的射撃以外に使用しない旨を誓約したもの
- (3) 日本クレー射撃協会の加盟団体であるランニング・ターゲット部会（以下単に「ランニング・ターゲット部会」という。）の登録を経た日本クレー射撃協会の会員
- (4) 国民体育大会のランニング・ターゲット射撃競技に参加する選手またはその候補者と認められた者
- (5) 法第4条第1項第5号の2の規定により許可を受けた射撃指導員から指導を受けることができる者、または当該射撃指導員の確保が見込まれる者
- (6) 日本クレー射撃協会が主催または指定するランニング・ターゲット射撃に関する講習会において所定の講習課程を修了した者
- (7) 日本体育協会または日本クレー射撃協会が主催して行なう運動競技会（都道府県クレー射撃協会等の日本クレー射撃協会の加盟団体（以下単に「加盟団体」という。）が主催して行う運動競技会を含む。）のランニング・ターゲット射撃競技に年2回以上参加し得る者
- (8) ランニング・ターゲット部会段級位審査規程で定める段級位7級以上のものがある者
- (9) 誓約事項を遵守し得ると認められる者

4. 推薦の手続

- (1) 年少射撃資格の認定を受けようとする者は、年少射撃資格の認定に関する推薦申請書（様式第1号。以下「推薦申請書」という。）2通に所定の事項を記載し、年少射撃資格の認定に関する申請者誓約書（様式第9号。以下「誓約書」という。）及び年少射撃資格の認定に関する親権者承諾書（様式第10号。以下「親権者承諾書」という。）を添付の上、ランニング・ターゲット部会に提出する。

- (2) ランニング・ターゲット部会は、推薦申請書を提出した者について、推薦基準に適合するかどうかを審査し、適合する者と判定した場合は、その者についての年少射撃資格の認定に関する推薦依頼書（様式第2-1号）1通を作成し、推薦申請書1通、誓約書及び親権者承諾書と共に、日本クレ射撃協会の加盟団体で、申請者の住所地の所在する都道府県を代表する射撃スポーツ競技団体（以下「都道府県クレ協会」という。）に提出する。
- (3) 都道府県クレ協会は、推薦申請書を提出した者について、推薦基準に適合するかどうかを審査し、適合する者と判定した場合は、その者についての年少射撃資格の認定に関する推薦依頼書（様式第2-2号）1通を作成し、推薦申請書1通、誓約書及び親権者承諾書と共に、日本クレ射撃協会に提出する。
- (4) 日本クレ射撃協会は、推薦委員会で審査の上、申請者が推薦基準に適合すると認定した場合は、その者についての年少射撃資格の認定に関する推薦依頼書（様式第3号）1通を作成し、申請者の住所地の所在する都道府県における日本体育協会の加盟地方団体（以下「都道府県体育協会」という。）に提出する。
- (5) 都道府県体育協会は、日本クレ射撃協会から推薦を依頼された者について、法第9条の13第1項の推薦に係る銃砲刀剣類所持等取締法施行規則（昭和33年総理府令第16号）別記様式第15号の推薦書（様式第4号）正本1通及び写し2通を作成し、都道府県クレ協会に交付する。
- (6) 都道府県クレ協会は、推薦書正本を申請者に交付し、写し1通をランニング・ターゲット部会に送付し、写し1通を保管する。
- (7) ランニング・ターゲット部会は、推薦書の写しを保管する。
- (8) 推薦書は1申請につき1通とし、推薦を受けた者がこれを都道府県公安委員会への申請書に添付できる期間は1年とする。

5. 推薦の取り消し

都道府県体育協会は、自らが行った推薦により年少射撃資格の認定を受けている者が次の各号のいずれかに該当する場合は、日本クレ射撃協会の取り消し依頼に基づき推薦を取り消すものとする。

- ① 日本クレ射撃協会またはランニング・ターゲット部会の会員でなくなったとき
- ② 誓約事項に違反したとき
- ③ 法第4条第1項第5号の2の規定により許可を受けた射撃指導員の指導を受ける見込みがなくなったとき
- ④ 正当な理由なく、日本体育協会または日本クレ射撃協会が主催して行なう運動競技会（ランニング・ターゲット部会が主催して行う運動競技会を含む。）のランニング・ターゲット射撃競技に年2回以上参加しなかったとき

- ⑤ その他、日本クレール射撃協会またはランニング・ターゲット部会の会員としてふさわしくない行為があったとき

6. 取り消しの手続

- (1) 日本クレール射撃協会の理事または都道府県クレール協会もしくはランニング・ターゲット部会は、都道府県体育協会の推薦により年少射撃資格の認定を受けている者が取り消しの基準に該当するに至ったと認めるときは、推薦取消上申書（様式第5号）1通を作成し、日本クレール射撃協会に送付する。
- (2) 推薦取消上申書を受けた日本クレール射撃協会は、その者について理事会で審査の上、取り消しの基準に該当すると認めたときは、推薦取消依頼書（様式第6号）1通を作成し、都道府県体育協会に提出する。
- (3) 都道府県体育協会は、推薦取消依頼書に基づき推薦取消書（様式第7号）正本1通並びに推薦取消通知書（様式第8号）正本1通及び写し1通を作成し、日本クレール射撃協会に交付する。
- (4) 日本クレール射撃協会は、推薦取消書正本を被取消者に交付するとともに、推薦取消通知書正本を被取消者の住所地を管轄する都道府県公安委員会に送付し、その写しを推薦依頼書を発行した都道府県クレール協会に送付する。
- (5) 推薦取消通知書の写しを受けた都道府県クレール協会は、推薦取消通知書の写しをランニング・ターゲット部会に送付する。

附則

この要綱は、平成21年12月4日から施行する。

<様式第1号>

年少射撃資格の認定に関する推薦申請書
〔空 気 銃〕

平成 年 月 日

社団法人 日本クレイ射撃協会
会 長 ○○ ○○ 殿

申請者住所

氏名

印

私は、貴協会の指導に従い、ランニング・ターゲット射撃競技の選手・候補者として、年少射撃資格の認定を受けたいので必要な推薦の手続きを次によりお願いします。

申 請 者	本 籍							
	住 所	〒						
	氏 名				性別	男・女		
	生年月日	S・H	年	月	日	電話番号	局	番
	職 業							
	会員継続期間	年 月間 (入会年 年 月)						
会員登録番号	ランニング・ターゲット射撃に関する講習会 修了証明書			番 号				
				交付年月日				
				受講場所				
希望する銃種	空 気 銃			資格認定	取得年月日	年 月 日		
				証書番号				
				段 級 位				
指 導 者 名	銃 種	氏 名	住 所					
(誓約事項) 次の事項を守ることを誓約します。								
1 日本クレイ射撃協会制定の射撃競技規則を守り、スポーツ射撃に精励します。								
2 射撃指導員の指導に従い、銃器弾薬の関係法令を遵守し、危害予防と銃器の安全な扱いについては特に注意します。								
3 当該年少射撃資格の認定を受けた日並びに認定を取り消された日より2週間以内に、定められた様式により、加盟宛団体に内容を報告します。								
4 その他日本クレイ射撃協会の指導を守ります。								
						氏名(自署)	印	

<様式第2-2号>

県名	
番号	

年少射撃資格の認定に関する推薦依頼書

[空気銃]

平成 年 月 日

社団法人 日本クレー射撃協会

会長 ○○ ○○ 殿

加盟団体名(都道府県クレー協会)

代表者氏名 _____ 印

住 所 _____

担当者名 _____ 印

電 話 _____

このたび 殿より、別添の通り年少射撃資格の認定に関する推薦について申請があったので、当団体で審査したところ、選手・候補者として適当であると認められるので、当該資格認定についての推薦を願います。

推薦	資格	講習	会員	段級

<様式第3号>

番 号
平成 年 月 日

年少射撃資格の認定に関する推薦依頼書

財団法人 ○○県体育協会

会長 ○○ ○○ 殿

社団法人 日本クレイ射撃協会

会長 ○○ ○○

下記の者を、銃砲刀剣類所持等取締法第9条の13第1項による年少射撃資格の認定を受ける者として、推薦を依頼いたします。

1. 被推薦者

本 籍

住 所

職 業

氏 名

性別

生年月日

2. 推薦の理由

国民体育大会の空気銃射撃競技に参加する選手またはその候補者として適当であります。

なお、認定を受けたい銃種は、以下の通りであります。

種 類 空気銃（空気けん銃を除く。）

<様式第4号>

第 号

推 薦 書

平成 年 月 日

公安委員会殿

推薦者

財団法人 ○○県体育協会

会長 ○○ ○○

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の13第1項第 号の規定により下記のとおり推薦します

被 推 薦 者	本 籍	
	住 所	
	職 業	
	氏 名	
	生年月日	
推 薦 の 理 由	国民体育大会の空気銃射撃競技に参加する選手 またはその候補者として適当であります。 なお、認定を受けたい銃種は次の通りです。 種 類 空気銃（空気けん銃を除く。）	

<様式第5号>

県名	
番号	

推薦取消上申書
〔空 気 銃〕

平成 年 月 日

社団法人 日本クレー射撃協会
会 長 ○○ ○○ 殿

都道府県クレー協会もしくはランニング・ターゲット部会
代表者氏名 印

下記の者についての推薦の取り消しを上申します。

記

1. 被推薦者

住 所
氏 名
推薦年月日 年 月 日
推薦書番号 第 号 年少射撃資格の認定に関する推薦
種 類 空気銃(空気けん銃を除く。)

2. 取消の理由

<様式第6号>

番 号
平成 年 月 日

推薦取消依頼書

財団法人 ○○県体育協会
会長 ○○ ○○ 殿

社団法人 日本クレイ射撃協会
会長 ○○ ○○

下記の者についての、推薦取消を依頼いたします。

記

1. 被推薦者

住 所

氏 名

推薦年月日 年 月 日

推薦書番号 第 号 年少射撃資格の認定に関する推薦

種 類 空気銃（空気けん銃を除く。）

2. 取消の理由

<様式第7号>

第 号

推薦取消書

平成 年 月 日

殿

財団法人 ○○県体育協会
会長 ○○ ○○

貴殿の推薦を取り消します。

記

推薦年月日 年 月 日

推薦書番号 第 号 年少射撃資格の認定に関する推薦

種類 空気銃（空気けん銃を除く。）

取消の理由

<様式第8号>

第 号

推薦取消通知書

平成 年 月 日

公安委員会 殿

財団法人 ○○県体育協会
会長 ○○ ○○

下記の者の推薦を取り消しましたので通知します。

記

住 所

氏 名

推薦年月日 年 月 日

推薦書番号 第 号 年少射撃資格の認定に関する推薦

種 類 空気銃（空気けん銃を除く。）

取消の理由

<様式第9号>

年少射撃資格の認定に関する申請者誓約書

平成 年 月 日

社団法人 日本クレール射撃協会
会 長 ○○ ○○ 殿

所属協会
住 所
氏 名

印

私 儀

今般、年少射撃資格の認定のために貴協会の推薦を受けるにあたり、当該銃砲の使用については、許可を受けた射撃指導員の指導の下で推薦基準要綱並びに誓約事項を遵守し、安全な使用を行います。

なお、推薦基準要綱並びに誓約事項に違反したる行為があったときはただちに推薦の取り消しを受けても、一切の異議を申し立てません。

上記のとおり誓約いたします。

<様式第10号>

年少射撃資格の認定に関する親権者承諾書

平成 年 月 日

社団法人 日本クレイ射撃協会

会 長 ○○ ○○ 殿

(親権者・後見人)

住 所： _____

氏 名： _____ (印)

生年月日： _____ 年 月 日 歳

電話番号： _____

申請者との関係： _____

私 儀

私は、下記の年少射撃資格認定申請者の親権者もしくは後見人として、許可を受けた射撃指導員の下で当該銃砲の使用について承諾するとともに、射撃競技以外に銃砲の使用はさせないことは勿論のこと、関係法規の総てを遵守させ、貴会の指導に従うことを保証し、監督いたします。

記

[申請者]

氏 名(ふりがな)： _____

現住所： _____

学校名・勤務先： _____

性 別： 男 性 ・ 女 性 (該当性別に○印)

生年月日： _____ 年 月 日 生 _____ 満 歳

使用予定銃砲： 空 気 銃 (空気けん銃を除く。)